

白玉が n 回取り出されるときの確率を P_n とする

毎回球を戻すことから P_n には反復試行の考え方が適用できる

$$\begin{aligned} P_n &= {}_{40}C_n \left(\frac{10}{70}\right)^n \left(\frac{60}{70}\right)^{40-n} \\ &= \frac{40!}{n!(40-n)!} \frac{60^{40-n} 10^n}{70^n} \\ &= \frac{40!}{n!(40-n)!} \frac{60^{40-n}}{7^n} \end{aligned}$$

ここで P_{n+1} と P_n の関係を考える

→ 定石として受験数学では $\frac{P_{n+1}}{P_n}$ を考えるのが一般的

$$\frac{P_{n+1}}{P_n} = \frac{\frac{40!}{(n+1)!(39-n)!} \frac{60^{39-n}}{7^{40}}}{\frac{40!}{n!(40-n)!} \frac{60^{40-n}}{7^{40}}} = \frac{40-n}{n+1} \frac{1}{6}$$

上の式から $\frac{P_{n+1}}{P_n}$ は n に対して単調減少 (n が増えると $\frac{P_{n+1}}{P_n}$ は減る)

つまり、 $\frac{P_{n+1}}{P_n} < 1$ に初めてなる n が題意を満たす n

$$\frac{P_{n+1}}{P_n} < 1 \Leftrightarrow \frac{40-n}{n+1} \frac{1}{6} < 1 \Leftrightarrow 40-n < 6n+6 \Leftrightarrow 34 < 7n$$

$$\therefore n = 5$$